

No40 建廃協NEWS

topic.1 (株)エコワスプラント自主管理システム更新点検



9月29日（火）処理システム委員会では、(株)エコワスプラントにおいて自主管理システムの更新点検を実施しました。自主管理システムでは2次処理先の施設名を含めた処理状況の開示を行っており、年2回以上開示情報の更新を行っています。今回の更新点検は、(株)エコワスプラントが自主管理システムをスタートさせ6年を経過したことを受け、改めて開示内容の確認を行うものです。更新点検では、全国的にも処理の内容が問題となっている「石膏ボード」、「ふるい下残さ」及びいわゆる「Bがら」を重点的に確認し、開示している内容通り処理されていることを確認しました。

なお今回の点検から、今年度より顧問としてお世話になっている元日本工業大学教授の小野雄策先生と、組合員の若手社員で構成された処理システム委員会の分科会（小野組）で点検を実施することになりました。若手社員に自主管理システムの更新点検を通じ、各施設を見る機会を与えるとともに、これから組合で取り組もうとしているふるい下残渣のリサイクルに関する研究も小野組で行います。組合員の総合型中間処理施設全社が自主管理システムに取り組んだいま、次のテーマに向けてステップアップしていきます。

topic.2 日建連との合同視察会

安定型最終処分場の株式会社スカラベサクレ（福岡県）とセメントリサイクルの株式会社トクヤマ（山口県）に9月17日～18日で視察会を行いました。(株)スカラベサクレの第一処分場は残容量が20万m³で、残り2年ほどで完了する予定ですが、第二処分場を来年度には管理型処分場としてオープンする予定とのことでした。

二日目の(株)トクヤマについては塩素の処理能力が向上したとのことで、今後我々組合員からの荷も増やしていただきたいとお願いをさせていただきました。また、今回は久しぶりにキルンのプレヒーターに上がらせていただき、特別展望台からの眺望を見学させていただきました。

